

安心と笑顔のために

日本共産党札幌市議団ニュース

No. 321 2023年7月6日

日本共産党札幌市議団 事務局 TEL 211-3221 / fax 218-5124

市民が使いやすく親しめるスキー場に

7月4日 議案審査特別委員会 さとう綾委員

第二回定例市議会では、補正予算で新規事業として、札幌のスキー振興の拠点の一つである藻岩山スキー場の運営体制強化に向けた調査・検討の予算1000万円が計上されました。これを受けて佐藤市議が質問に立ちました。

最初に同市議は「藻岩山スキー場は、スポーツ局としてどういうところが魅力だとお考えか」と質問。市の担当者は「初心者から上級者までが楽しめ、都心から近くナイターでは日本新三大夜景も楽しむことができる」と答弁。同市議は続けて「まさに親子連れでも楽しめるというスキー場だというふうにも私も思っている。しかし、近年は市民ロッジの老朽化や、またトイレの不足、駐車場が狭い、リフトの老朽化など、全体の更新が必要となっている。今回の運営体制強化とは具体的にどこか」と質問。市の担当者は「複数事業者でそれぞれ独立した運営を行っていた体制を見直し、リフトやゲレンデを管理している株式会社りんゆう観光と、一体運営を行う新規参入事業者の有無について調査を行うもの」と答弁しました。同市議は最後に「今後、検討によって運営の形態が変わるとなると、本市としてどう藻岩山スキー場への役割を担うのか」と質問。市の担当者は「市としても、引き続き多くの市民に利用される市民スキー場として持続できるよう取り組んでいく」と答弁しました。

同市議は「市民が使いやすい親しめるスキー場として、公的な関わりを持ち続けて欲しい」と求めました。

オリ・パラ招致 市民の声を聞け

7月4日 議案審査特別委員会 さとう綾委員

今年度の当初予算では、オリパラ招致費のうち、大会計画の詳細検討や渉外活動費、市民理解促進として2億3400万円の要求額に対し、6900万円と大幅に減額され、今回4100万円を補正されたことを受けて、佐藤市議が質問に立ちました。

同市議は「初予算では大きく査定され、減額された招致費ですが、今回の補正予算計上に当たっての考え方を」と質問。市の担当者は「市民の不信感の払拭と信頼回復を最優先とするため、積極的な機運醸成活動を当面休止し、こうした状況を踏まえ、今回の補正予算におきましては、検討委員会の運営経費や一連の対話事業に関する経費のみを計上したもの」と反対の声が強くなっても招致ありきの答弁しました。続けて同市議は「今回補正で838万6000円、市民への情報発信、対話で3261万4000円が計上されている。この市民への発信、対話というのは公開討論会や区民説明会動画作成とある。他にもシンポジウムや公開討論会、市民説明会を実施するとの事だが、どのようにどのようなことを行うのか」と質問。市の担当者は「公開討論会では、市民が懸念を示している事柄をテーマに、賛成・反対を含めた意見交換を行い、議論を深めることを通じて市民の理解を進める。説明会では、市民対話を重ねながら、招致への理解を深めていただく」とあくまでも市民に対して招致活動を理解してもらおうという立場を崩しませんでした。最後に同市議は「反対が増えているのに、まだ市民理解のためにと行ってさらに税金を使う。これこそ、市民の理解を得られない」と指摘しました。